



ESTABLISHED IN 1919

金の星社

会社案内

100
年の
笑顔・
夢

100
年
先の
未来も



ごあいさつ

大正8年11月に設立された、業界で最も長い歴史を持つ子どもの本の専門出版社です。童謡童話雑誌『金の船』(のちに改題『金の星』)は創業と同時に刊行され、初代編集長の野口雨情をはじめ、島崎藤村・有島生馬・若山牧水・中山晋平・本居長世・沖野岩三郎・岡本歸一・寺内萬治郎といった児童文化のそうそうたる先人達と共に、日本の近代的児童文化の成立をリードしました。

子どもたちの心を豊かにし、その成長の糧となる良書の出版と普及をとという創業以来の基本姿勢は今日も力強く引き継ぎ、児童図書出版界の本流を歩み続けています。特に、平和の大切さ、自然の豊かさをテーマにした作品や、現代の様ざまな社会問題と、その中で悩み成長していく子どもたちの生活と姿を描く国内外の多様な児童文学群は、読者の大きな支持を得ています。

令和元年には創業100周年を迎えました。



金の星社 沿革

明治 大正

- 1893年9月26日
(明治26) 斎藤佐次郎 東京市本郷区根津の防水帆布商家に誕生
- 1919年11月1日
(大正8) 童謡童話雑誌『金の船』創刊により創業
編集所は根津の斎藤佐次郎宅
発行所は麴町区飯田町キンノツノ社(横山寿篤社主)
- 1920年2月
(大正9) 斎藤佐次郎宅を河口慧海師の仏教道場に提供
斎藤は東京府下滝野川町田端に移転(編集所も移転)
- 1922年4月
(大正11) 発行所を金の船社と改め 斎藤佐次郎が社主となる
- 1922年5月
(大正11) 雑誌名を6月号より『金の星』と改題
- 1923年1月
(大正12) 社名を金の星社と変更
- 1925年5月
(大正14) 本郷区動坂町の金の星ハウスに移転

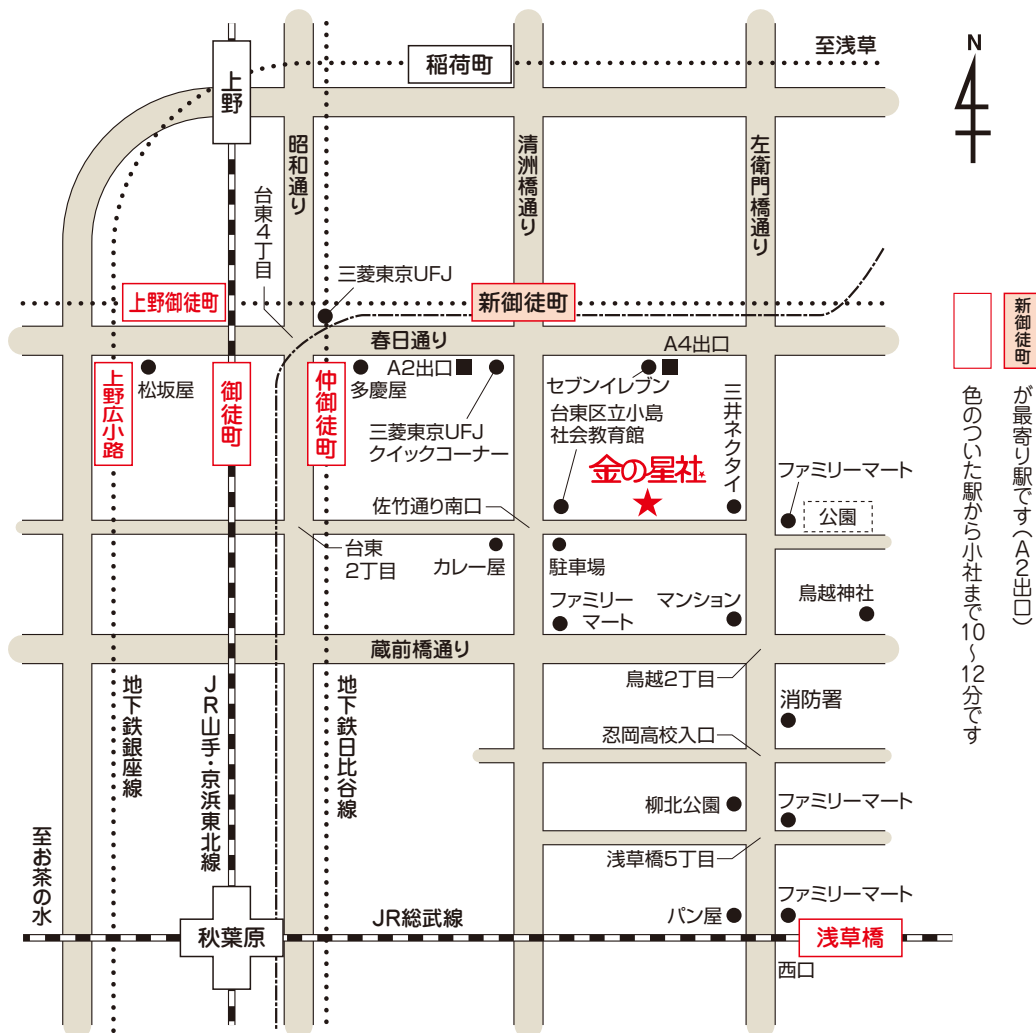
昭和

- 1927年8月
(昭和2) 再び田端の斎藤佐次郎宅に移転
- 1928年4月
(昭和3) 編集を外部に委任 雑誌名『少年少女 金の星』となり
翌年7月号をもって終刊
- 1932年6月
(昭和7) 株式会社に改組 下谷区二長町に移転
- 1936年5月
(昭和11) 浅草区小島町(現在地)に移転
- 1943年11月
(昭和18) 企業整備令を受け 金の星社・富永興文堂(現新星出版社)・
鈴木仁成堂(現鈴木出版)・中村書店・綱島書店・大川屋書店・
鳥海書店の七社が合併して新会社「児童図書出版社」を
神田区松枝町に設立 斎藤佐次郎が代表となる
- 1944年11月
(昭和19) 事務所が空襲で消失 仮事務所を金の星社に置く
- 1945年8月
(昭和20) 「児童図書出版社」を解散 金の星社を再開
- 1970年8月
(昭和45) 『かわいそうなぞう』を刊行
- 1977年12月
(昭和52) 『ガラスのうさぎ』を刊行
- 1997年12月
(平成9) 『ハッピーバースデー 命かがやく瞬間』を刊行
- 2019年11月
(令和元) 創業100周年

平成 令和

会社概要

会社名	株式会社金の星社
住所	〒111-0056 東京都台東区小島1-4-3
TEL	03-3861-1861(代表)
FAX	03-3861-1507
URL	https://www.kinnohoshi.co.jp/
社長	斎藤健司
社員数	35名
創立	1919年11月1日
資本金	2500万円
主要取引先	株式会社トーハン、日本出版販売株式会社
仕入先	北越紙販売株式会社、東京美術紙工協業組合、図書印刷株式会社 他
取引銀行	三井住友銀行、みずほ銀行、きらぼし銀行、商工組合中央金庫 他



組織図

